

# 小野寺防衛大臣北部方面隊を視察



第743号  
平成30年3月31日

方面總監要望事項  
よく考えて、  
前へ!

陸上自衛隊  
北部方面隊広報紙  
発行：北部方面總監部広報室

北部方面隊  
ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae>



儀 じ よ う

北部方面隊（總監 田浦陸将）は、2月25日（日）、真駒内駐屯地及び北海道大演習場西岡地区において、小野寺防衛大臣の部隊視察を受けた。

大臣は、真駒内駐屯地において殉職者慰霊碑への献花の後、栄誉礼・儀じようを受け、總監及び第11旅団長（竹本将補）からの概況報告を受け

た。また、駐屯地訓練場において第11特科隊及び冬季戦技教育隊による訓練及び装備品展示を視察した後、西岡演習場に移動して、バイアスロン選手

の訓練を視察し、第18普通科連隊及び平昌五輪出場選手（体育学校冬季特別体育教育室所属）を激励した。

「隊員諸君は、地域経済やまちづくりにおいても、地域に大きく貢献し、さつぼろ雪まつりでは、大量の雪輸送や、2つの大雪像の制作を行うなど、市民と一丸となって雪まつりを盛り上げてくれた。また、体育学校の7名の選手が平昌五輪に参加し、日本国民に対して活躍を見せてくれた。防衛大臣として大変誇りに思う。現在、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しいものとなっており、北朝鮮の核・ミサイル開発は、これまでにない重大かつ差し迫った脅威であり、戦後最も厳しいと言っても過言ではない。

陸上自衛隊としては、第11旅団が北海道で初の機動旅団として、平成30年度末の改編に向けた準備を進めているが、「道場」として良好な訓練環境を有する北海道に所在する第11旅団が最新鋭の機動旅団として改編できることを期待している。

最後に、諸君においては、各部隊指揮官の指揮統率の下、自身に課せられた責務の重さを認識し、一層奮励努力することを期待している」と述べられ、視察を終了した。

北部方面隊は、2月25日（日）から27日（火）の間、陸上幕僚長（山崎陸将）の初度視察を受けた。今回の視察は、ロシアとの国境を警備する稚内分屯地司令 森2佐、礼文分屯地司令 佐藤3佐及び宗谷通信所の現状の認識を目的として実施された。

当初、雪深い宗谷通信所へ、かんじきを履いて移動し、通信所施設を確認した。その後、稚内分屯地へ移動し、方面總監が現況を報告した。陸上幕僚長からは、「今何かあったときに任務を遂行できなければ陸上自衛隊の将来はない。方面總監の指揮統率のもと、いかなる事態があっても任務遂行ができる方面隊であってほしい。各種事態を見据えて即応性を保ってほしい」との指導を受けた。



オリンピック選手と記念撮影



第11特科隊装備品展示



第18普通科連隊隊員を激励



バイアスロン訓練銃体験



かんじきで通信所を視察（稚内）  
（陸幕長：前から2人目）



状況報告（稚内）



隊員を激励（礼文）



隊内巡視（稚内）

## 最北の守りを確認 陸上幕僚長初度視察

設を視察し隊員の勤務環境、営内者の生活環境などを確認し、陸幕長は厳しい環境で勤務する隊員を労い、視察を終了した。

### 厳寒を制し己の限界を超えろ!

## 第9期冬季遊撃課程

冬季遊撃教育隊(隊長 山口2佐)は、1月4日(木)から2月28日(水)の間、西方を除く各方面隊から集まった32名の学生に対して、第9期冬季遊撃課程教育を担当実施した。

本教育は、積雪寒冷地における遊撃部隊要員として必要な知識及び技能を修得させるとともに、必要な資質を涵養することを目的として、真駒内駐屯地、北海道大演習場、ニセコ演習場及びその周辺において行われた。訓練は、山地潜入訓練、冬季遊撃基礎訓練

総合訓練に分けられ、総合訓練は、山地総合訓練と冬季遊撃総合訓練で構成された。特に、山地総合訓練は過酷を極めており、約40kgの装備を携行し、ニセコ演習場からニセコ山頂を目指して雪中行進するもので、3日間わたって実施された。潜入では、新雪を啓開しながら行進し、1日目ニセコ山頂に到達し、2日目ニセコ山頂付近において雪洞を作製し雪中露営を行った。最終日、気温マイ

ナス14度、風速10メートルを超えるなか、学生一丸となりニセコ山頂を果敢と登頂し、無事全員が帰還した。冬季遊撃総合訓練では、計画作成、潜入、潜在、襲撃、伏撃及び離脱を4日間わたって一連の状況下で実施し、全行程を制覇した32名は、真駒内駐屯地に帰還し、冬季遊撃章を胸に安堵感とき章の重みを実感した。



空路潜入



懸垂下降



スキー行進



総合訓練

### 冬季の発災に備えて

## 北海道原子力防災訓練

北部方面隊は、2月5日(月)及び8日(木)の両日、北海道などが主催する平成29年度北海道原子力防災訓練に参加した。

本訓練は、住民約1万人、防災関係機関関係者約400人が参加し、台風並みに発達した低気圧による暴風雪という気象条件下における原子力災害対処要領について確認した。

方面隊は、第11旅団(旅団長 竹本将補)を基幹として実動訓練に参加し、俱知安中央公園に開設した検査場において、避難住民のスクリーニング及び避難車両の除染行動を実施した。また、避難用バスの前方除雪啓開する等、冬季の特性を考慮した避難行動を実施した。

本訓練は、住民約1万人、防災関係機関関係者約400人が参加し、台風並みに発達した低気圧による暴風雪という気象条件下における原子力災害対処要領について確認した。

方面隊は、第11旅団(旅団長 竹本将補)を基幹として実動訓練に参加し、俱知安中央公園に開設した検査場において、避難住民のスクリーニング及び避難車両の除染行動を実施した。また、避難用バスの前方除雪啓開する等、冬季の特性を考慮した避難行動を実施した。

市農道空港において実施された情報収集訓練に方面情報隊(隊長 岡1佐)が参加し、民有地における無人偵察機隊の展開訓練及び映像伝送訓練を演練した。

訓練では、悪天候の影響で、ヘリコプターを使った避難訓練が中止となり、冬季特性を踏まえた陸路、海路など、様々な状況を想定しながら、臨機応変に対応することが重要であることなどが、今後の対処計画の実効性向上のための貴重な教訓を得た。

### 将来の陸曹教育のあり方について全国レベルで討論

## 平成29年度各方面混成団長会議

北部方面混成団(団長 井上1佐)は、2月8日(木)、平成29年度各方面混成団長会議を担当実施した。

本会議は、各方面混成団から、団長訓練科長、最先任上級曹長が参加したほか、陸上幕僚監部幹部学校、幹部候補生学校からも関係者が参加し、教育部隊の状況、教育訓練等に関する問題点、各方面隊の教育部隊で実施されている施策等について情報を共有し、今後の教育訓練に反映させることを目的として実施された。

会議に先立ち、第1陸曹教育隊の教育施設を研修するとともに、活発



教育施設研修

にも、北部方面混成団の教育等の概要について説明した。

会議においては、各方面混成団や幹部候補生学校で実施している教育施策及びコア連隊の訓練管理等について



熱の入った意見交換

な意見交換が実施された。

各方面混成団等は、様々な問題認識や施策について情報を共有するとともに、今後の隊務運営の資を得ることができた。

また、本年度末に

教育訓練研究本部が創設されるため、今後の陸曹教育等の統制について議論するとともに、陸幕教育室長も交えて将来の陸曹育成について議論し、有意義な会議となった。



避難車両の除染



前方調整所



民有地に展開する無人偵察機隊



訓練を視察する北海道知事

## 幻想交響曲で聴衆を魅了!

## 北部方面音楽隊 第79回定期演奏会

北部方面音楽隊(隊長 村田3佐)は、3月11日(日)、札幌コンサートホールキサラホールにおいて、第79回定期演奏会を実施した。

本演奏会は、年2回実施される定期演奏会のうち、最も演奏技術が必要とするプログラムが組まれる演奏会で、今回は部外よりハープ奏者の松浦氏を迎え、約50名による大編成での演奏会となった。

第1部では、アメリカの作曲家による楽曲を多く取り入れ、行進曲「勝利の父」をはじめ、吹奏楽の醍醐味が味わえる曲が演奏された。なかでも、最後に演奏された「金管楽器と打楽器のための交響曲」は、クラリネット等の木管楽器が一切使用されない珍しい楽曲であり、聴衆の興味を引いた。

第2部では、高度な技術が必要とするため、吹奏楽では全曲が演奏されること少ないベリオーズ作曲「幻想交響曲」により、熱烈なファンをはじめ、吹奏楽経験者の話題を呼び、その美しい響きは、多くの聴衆を魅了した。

演奏が終り、観客からの溢れんばかりの拍手に応え、アンコール曲として、復興支援ソング「花は咲く」が演奏されると、会場は感動に沸いた。

アンコールの最後に、笛の光の旋律が入っている珍しい行進曲である「名譽ある古代砲兵中隊」が演奏されると、演奏者と観客が一体となり、演奏会は幕を閉じた。

また、今回の演奏会では、北部方面音楽隊の演奏を評価し、今後のさらなる技術及び音楽表現の向上のため、指揮者の崎田俊治氏と、元札幌交響楽団クラリネット奏者の村松時雄氏(方面隊オピニオンリーダー)を評価員として迎え、音楽隊にとって大変貴重な意見が数多くいただいた。

北部方面音楽隊の次回定期演奏会は、6月15日(金)、北海道教育文化会館において実施される予定である。



壮大なアンサンブル



表現力豊かな演奏を引き出す指揮者

# 各種イベントに貢献！



## 冬季スポーツ大会協力

冬季のスポーツ大会協力は、厳しい気象条件の中で勤務することが多く、イベント協力に参加した隊員にとっては非常に過酷であり、使命感と忍耐力が醸成されるとともに、主催者等大会関係者から自衛隊に対する期待の大きさと参加する選手や地域のボランティアの方々とのふれあいを感ずる貴重な機会となっている。

また、冬季スポーツ大会に部隊として協力するなか、選手としても隊員が参加するなど、地域の皆さまとともに汗を流し、地域振興と自衛隊への理解促進に大きく貢献している。

降雪などの気象の影響によりコース作成やその後の維持・補修が難航し、大会実施が危ぶまれた場面もあったが、協力を参加した全隊員が一致団結し、大会の開催に間に合わせる事ができた。

方面隊各隷下部隊は、宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技をはじめ、クロスカントリー大会やジャンプ競技など、各地で開催された冬季スポーツ大会に協力した。コースの作成・維持・管理、関門チェック、施設開設・撤収等の大会運営や音楽隊による開会式等での演奏を行い、大会を演出した。



関門チェック (おおたき国際スキーマラソン)



雪上車によるコース整備 (恵庭クロスカントリースキー大会)



音楽演奏協力 (札幌スキー連盟会長杯ジャンプ大会)



杉子女王殿下御高覧 (宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技)



コース整備 (宮様国際スキーマラソン)

# 全国の衛生幹部等が集結 第61回北部防衛衛生学会

自衛隊札幌病院(病院長 上部陸将)は、2月15日(木)、北海道青少年会館コンパス(札幌市南区)において、第61回北部防衛衛生学会を開催するとともに、併せて平成29年度衛生科幹部等集合訓練を実施した。

本学会では、各種演題に基づく発表、部外講師による講演、パネルディスカッション等が行われた。

開会挨拶で学会長(上部陸将)は、学会テーマである「北部方面隊の衛生運用を考える」事態対処(「」に続き、「自衛隊札幌病院の建替え・移駐後の歩み」と題して、基幹病院として「北部方面隊の任務遂行に貢献しているか」の問題認識に立つた各種の取組みについて述べた。

特別演題では、札幌病院救急科部長(岩本1佐)が「北海道・札幌市合同防災総合訓練成果」について説明し、災害派遣医療における

医療機関等との連携要領に関する訓練成果等を述べた。

一般演題では、各衛生隊が「各種訓練成果」「衛生訓練の取組み」「健康管理の技術援助」等について報告した。また、一般講演として札幌医科大学医学部より沢本圭悟氏を招き「国民保護と神経剤」と題して講義をいただいた。

パネルディスカッションでは、各部隊のパネルリストである、陸幕衛生部企画室長(菊池1佐)をはじめ、北部方面隊の医務官及び衛生科隊員等による「事態対処における北部方面隊の衛生運用を考える」について議論がなされた。

最後に、優秀演題の表彰が行われ、第7後方支援連隊衛生隊「師団衛生訓練の取組みについて」が表彰された。



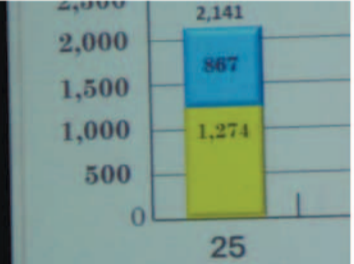
病院長講話



優秀演題の表彰



パネルディスカッション



厳粛に行われた卒業式



病院長訓示



旅立つ卒業生



卒業証書授与

自衛隊札幌病院(病院長 上部陸将)は、3月6日(火)、北部方面衛生隊長、関係部隊長、北部方面総監部医務官等、多数の関係者の臨席の下、第41期初級陸曹特技課程「准看護師」23名の卒業式を実施した。

卒業にあたり、病院長は訓示で「プロのプライドを持って」「仁の心を磨け」の2点を要望し、さらに「生涯にわたったゆめ研鑽を継続すること、人としての成長を積み上げることを強調した。また、准看護学院長(岩本1佐)は、式辞において「全ての経験に無駄はなし、前向きに任務にあたり、苦難の折には母校を大いに活用せよ」と述べた。代表学生は答辞で、「今

## 第41期初級陸曹特技課程「准看護師」卒業式

まで培ってきた職能に磨きをかけ、これからの一層前進を重ねて行きま

す」と力強い抱負を述べた。

約2年間の教育を修了した卒業生達は、その後第一線救護要員として、献身の心を忘れず、それぞれの配属部隊で活躍することを誓い、自らの目標に向かって全国へ旅立つて行った。

# 若き防人にエールを贈る！ 平成30年度入隊予定者激励会

## 入隊者壮行激励会



決意の言葉を述べる入隊予定者

道内各地では、2月か3月にかけて、各自治体及び自衛隊協力会等の協力団体が主催し、今春自衛隊へ入隊・入校する予定者に対する入隊予定者激励会が開催された。本激励会は、自衛官という職業への誇りとやりがいを感じさせ、入隊意欲向上を図るとともに、入隊予定者及びその家族の不安感の除去を目的として、例年道内63箇所開催されている。

激励会では、各主催者が道内各地では、2月か3月にかけて、各自治体及び自衛隊協力会等の協力団体が主催し、今春自衛隊へ入隊・入校する予定者に対する入隊予定者激励会が開催された。本激励会は、自衛官という職業への誇りとやりがいを感じさせ、入隊意欲向上を図るとともに、入隊予定者及びその家族の不安感の除去を目的として、例年道内63箇所開催されている。

また、隊区担当部隊及び地方協力本部などの支援を受けて、音楽隊の音楽演奏や太鼓同好会による太鼓演奏などが行われ、自衛官として社会人の第一歩を踏み出そうとしている入隊予定者とその家族を大いに励ます一助となった。



激励する先輩隊員



音楽演奏協力

## 我々の後輩は我々の手で！！

## 求む！多くの情報！！

**平成30年度各種目募集情報**

平成30年度は、各方面隊で第3級賞詞が2名、第4級賞詞が18名、第5級賞詞が420名に授与を期待する。

平成30年度は、各方面隊で第3級賞詞が2名、第4級賞詞が18名、第5級賞詞が420名に授与を期待する。

## 平成30年度の募集始まる！！



## 平成30年度自衛官等募集案内



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満の男女	①3月1日(木) ~ 5月1日(火) ②7月1日(日) ~ 9月7日(金)	①1次: 5月26日(土) 2次: 6月27日(水)~ 7月 2日(月) ②1次: 9月21日(金)~ 9月23日(日) 2次: 10月12日(金)~10月17日(水) ※ いずれか1日を指定されます	①1次: 6月 8日(金) 最終: 8月 3日(月) ②1次: 10月 5日(金) 最終: 11月 9日(金)
自衛官候補生	男子 18歳以上 27歳未満の男女 女子	年間を通じて 行っております	受付時にお知らせします	合格発表日は試験日にお知らせします
予備自衛官補	一般 18歳以上 34歳未満の男女 技能 18歳以上で 国家免許資格等 を有する男女 (資格により53歳未満 ~55歳未満の男女)	①1月 9日(火) ~ 4月 6日(金) ②7月 1日(日) ~ 9月14日(金) ※1	①4月14日(土)~4月18日(水) ②9月29日(土)~10月2日(火) ※いずれか一日を指定されます。	①5月18日(金) ②11月9日(金)
幹部候補生	一般 22歳以上26歳未満の男女 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込)含)、修士課程修了者(見込)含、28歳未満の男女 20歳以上28歳未満の男女 (修士課程修了者等(見込)含) 歯科・薬剤科 専門の大卒(見込)含) 20歳以上 30歳未満の男女 (薬剤科は20歳以上 28歳未満の男女※3)	3月 1日(木) ~ 5月 1日(火)	1次: 5月12日(土)・5月13日(日) 2次: 6月12日(火)~6月15日(金) (海・空飛行要員のみ) 3次(海): 7月 9日(月)~7月13日(金) (空※2): 7月14日(土)~8月 2日(木)	1次: 6月1日(金) 海・空飛行要員のみ 2次(海): 7月2日(月) (空※2): 7月6日(金) 最終 (陸・海): 8月3日(金) (空※2): 8月31日(金)  1次: 6月1日(金) 最終: 8月3日(金)

- ※1: 第1回で採用予定数を採用した場合、第2回は実施しない場合があります。
- ※2: 航空自衛隊の3次試験、2次及び最終合格発表は変更する場合があります。
- ※3: ①学校教育法に基づく大学において、正規の薬学の課程(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者(平成31年3月卒業見込みの者を含む。)  
②外国の薬学校を卒業し、又は外国の薬剤師免許を受けた者で、厚生労働大臣が①に掲げる者と同程度の学力及び技能を有すると認定した者  
③平成19年度から平成30年度までの間に学校教育法に基づく大学に入学し、4年制薬学課程を修めて卒業し、かつ学校教育法に基づく大学院において薬学の修士又は博士課程を修了した者であって、厚生労働大臣が、厚生労働省令で定めるところにより、①に掲げる者と同程度の学力及び技能を有すると認定した者に限ります。

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。

札幌地方協力本部 011(631)5472

旭川地方協力本部 0166(51)6060

函館地方協力本部 0138(53)6241

帯広地方協力本部 0155(23)5882

~心の健康相談室~

(第191回) **人生に潤いを与える言葉**

悠長の趣は、醸成に得ずして、  
菽を啜り水を飲むに得。  
固に知る、濃処の味わいは常に短く、  
淡中の趣は独り真なるを。

(後集・34)

「ゆったりとした趣は、味の濃い酒からは得られないで、むしろ豆粥をすすり水を飲むようなところから得られるのです。このことで明らかのように、濃厚な味は長続きしないが、淡泊の趣だけが本当の味わいである真実がわかる」というのです。

このように、あっさりとして平凡でありたいと思うことで、心に少しのゆとりが生まれ、また新たな勤務への活力が生まれてくるのではないのでしょうか。

心の健康相談・メンタルヘルス・カウンセラー  
根本和雄



## 今月の一枚

卒業証書

卒業証書

## 編集後記

一月行くつ月逃げる3月「去る」などと昔から言われるとおり、あつという間の3ヶ月ですね。3月と言えどもは卒業です。先日、常装を着て勤務して、ふと気が緩み、上着の第2ボタンがはじけ飛びました。中学校を卒業する時、下級の女子から制服の第2ボタンをせがまれ、逃げ回っていたのを思い出しました。今では、楽しい思い出です。

そんな卒業の余韻に浸る間もなく、多くの新卒者たちが入隊してきます。真新しい制服に身を包み、これから始まる新生活に不安と希望が入り混じり、同じ境遇の同期とともに自衛隊人生の第一歩を踏み出します。先輩隊員として、暖かく彼らを迎え、そして、立派な自衛官へと育てていきましょう。

本州では桜前線が次第に北上し雪深い北海道にも少しずつ春の足音が近づいています。厳しい冬は終わりを告げ、これまでの古い自分から卒業し、残雪を溶かすが如く、新しい目標を持って校の春を迎えようではありませんか。「最も強く、最も頼もしい北部方面隊」を目指して！